

手を取り合って福祉のまちづくり

南丹市社会福祉協議会業務スタート

一月四日、「南丹市社会福祉協議会開所式」が南丹市日吉はーとぴあで開催されました。昨年三月四日に園部町・八木町・日吉町・美山町の各社協



喜びのテープカット

が集まり第一回四町合併協議会を開催されて以来、多くの議論を重ねられ、七月八日に四町社協合併契約書調印式が行われました。十月十三日には京都府より合併の認可を受けて、社会福祉法人南丹市社会福祉協議会が誕生しました。開所式に先立って、来賓の方々によるテープカットおよび看板除幕式が行われ、新たな社会福祉協議会誕生の喜びを分かち合いました。

式では、麻田会長が「南丹地域の福祉の向上と充実を図り、南丹市民の期待にこたえていきたい。」と式辞を述べられました。



看板の除幕

新春を祝い 賀詞交換会

一月四日、南丹市国際交流会館イベントホールで、船井青年会議所主催の「第二十三回新春賀詞交換会」が南丹市・京丹波町の二百人を超える各団体代表らの参加のもと、賑かな雰囲気の中で開催されました。

オープニングでは和知太鼓の披露に始まり、船井JC桐野理事長が『明るい豊かな社会の創造』をモットーに行政、住民の方々と協調しながら、まちづくりを展開していく」と挨拶をされました。



決意を述べる桐野理事長

第二部では、小橋昭彦氏による「地域内の交流を深め情報交換を行う事の大切さ」と題する講演がありました。

文化財を守れ！ 火災から

一月二十二日、日吉町殿田の日吉神社で南丹市消防団日吉支団、園部消防署をはじめ、昨年三月に結成された地元消防協力隊や神社関係者の参加で、神社裏の山林からの出火を想定し、本番さながらの文化財防火訓練が行われました。

煙発生機による煙で緊張感が広がる中、地元消防協力隊が消火器とバケツリレーで初期消火活動と文化財の搬出を行い、ホースをつないで駆けつけた消防団員が山林に向かって勢いよく放水しました。

また、園部、八木でも訓練が行われ、消防団と地元住民らの協力によって大切な財産を守る意識を高めました。



手際よい操作で放水